

清瀬 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：佐藤

使用教科書：『新詳地理探究』 帝国書院

教科 地理歴史 の目標

【知識及び技能】 現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究 の目標

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|---|
| 地理に関わる諸事象について、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 思 態 | | | 配当 時数 |
|-------------|--|--|---|-------|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | (1) 地形 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解する。 ・地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 | (1) 指導事項 ① 大地形 (2) 教材 プリント等 | ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度 ①地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 ②地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | (1) 地形 地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解する。 ・地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 | (1) 指導事項 ① 小地形 (2) 教材 プリント等 | ①地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 ②地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | (2) 気候 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解する。 ・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 | (1) 指導事項 ① 気候の成り立ち (2) 教材 プリント等 | ①気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 ②気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 | ○ | ○ | ○ | 10 |

| | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|---|----|
| | <p>人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> | | | | | | | 10 |
| | <p>(2)気候</p> <p>・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解する。</p> <p>・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> | <p>(1) 指導事項</p> <p>① 気候と生態系</p> <p>② 世界の気候区分</p> <p>(2) 教材</p> <p>プリント等</p> | <p>①気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。</p> <p>②気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | | | | | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | | 1 |
| 2 学 期 | <p>(3)日本の自然環境</p> <p>・自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解する。</p> <p>・自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> | <p>(1) 指導事項</p> <p>① 日本の地形</p> <p>② 日本の気候</p> <p>(2) 教材</p> <p>プリント等</p> | <p>①自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。</p> <p>②自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | | | | | 8 |
| | <p>(1)食料問題</p> <p>・食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解する。</p> <p>・食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> | <p>(1) 指導事項</p> <p>① 世界の食料問題</p> <p>② 日本の食料問題</p> <p>(2) 教材</p> <p>プリント等</p> | <p>①食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。</p> <p>②食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | | | | | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | | 1 |
| | <p>(1)エネルギー・鉱産資源</p> <p>世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解する。</p> <p>・世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> | <p>(1) 指導事項</p> <p>① エネルギー資源の種類と利用</p> <p>(2) 教材</p> <p>プリント等</p> | <p>①世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。</p> <p>②世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | | | | | 6 |
| <p>(2)資源・エネルギー問題</p> <p>・これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解する。</p> <p>・これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p> | <p>(1) 指導事項</p> <p>① 資源・エネルギーをめぐる課題</p> <p>② 日本の資源・エネルギー問題</p> <p>(2) 教材</p> <p>プリント等</p> | <p>①これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。</p> <p>②これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | | | | | 6 | |

除却を土中時に追加分。

○
○
○
○

| | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|---|---|---|----|
| 3 学 期 | <p>(1)工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解する。 ・さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 | <p>(1) 指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 工業の発達と種類 ② 工業の立地 ③ 世界の工業地域 ④ 現代世界の工業の現状と課題 <p>(2) 教材</p> <p>プリント等</p> | <p>①さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。</p> <p>②さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | 75 |